

	<h2 style="text-align: center;">牧野記念庭園記念館リニューアル10周年！</h2> <h3 style="text-align: center;">特別展「江戸の博物絵師 関根雲停-牧野富太郎が愛した植物画」を開催</h3>
<p>会 期</p>	<p>7月15日（水）～9月6日（日）まで（火曜休園） 午前9時30分～午後4時30分（開園時間は午前9時～午後5時）</p>
<p>場 所</p>	<p>牧野記念庭園記念館（東大泉6-34-4） 入場無料</p>
<p>牧野記念庭園記念館は、15日から、リニューアルオープン10周年を記念して、特別展「江戸の博物絵師 関根雲停-牧野富太郎が愛した植物画」を開催します。リニューアルオープン最初の特別展で取り上げた関根雲停の植物画を、新たな研究成果を盛り込んで展示します。</p> <p>関根雲停（1804-1877）は、江戸時代後半に活躍した絵師で、その筆致には、植物の生い茂る様を捉えたようなおもしろみがあります。牧野富太郎（1862-1957）も雲停の植物画に魅せられた一人であり、若い頃に、郷里高知県の知人から、雲停の植物画を譲り受け、晩年にはそれらの敷き写しを画家の大前静（1898-1963）に依頼しました。</p> <p>本展では、牧野富太郎がつくらせた雲停の模写図を展示し、併せて、大前氏のご遺族が区に寄贈した模写のための下絵を、初公開いたします。また、雲停の魅力をより一層知っていただくために、雲停が描いた渡来植物の図を期間限定で展示いたします。（展示期間は、以下の展示日程のとおり）その他、講演会等のイベントを開催します。</p>	

【展示日程】

日程により展示が変わります。

①「ヒヤシント図」（国立国会図書館蔵、服部雪斎と共作）

7月15日（水）～7月27日（月）

②「椰子萌芽図」（国立国会図書館蔵）とその写生図（雑花園文庫蔵）

7月29日（水）～8月10日（月・祝）

③江戸幕府の医官 久志本常珍旧蔵の植物画

8月12日（水）～9月6日（日）



▲夾竹桃

【関連イベント】

講演会「江戸の博物絵師 関根雲停の世界 - 牧野富太郎旧蔵品を中心に」

日時：7月19日（日）午後2時から午後3時

講師：当館学芸員

場所：講習室

定員：30名（事前申込制。7月9日締め切り。）

申込：郵便往復ハガキまたは電子メールで

①氏名②住所③電話番号を記載して牧野記念庭園記念館宛まで

ハガキ：〒178-0063東京都練馬区東大泉6-34-4

メール：event@makinoteien.jp

費用：無料

ギャラリー・トーク（当館学芸員による展示解説）

日時：8月9日（日）、9月6日（日）

各日3回 ①午後2時30分②2時50分③3時10分

場所：企画展示室

定員：10名（先着順で定員10名を3回/日）

費用：無料 当日受付（午後2時20分～）



▲絞ダントク